

## 第5次釧路町総合計画（町民意見反映）

# 町民インタビュー

結果報告

第1回 → 釧路町女性連絡協議会（役員会）



### □開催データ

- 開催日時：平成22年12月9日（木）18：30～19：30（1時間）
- 開催場所：釧路町役場 2階庁議室
- 出席者：釧路町女性連絡協議会 役員18名
- 聞き手：佐藤広高 釧路町長

### □開催目的

第5次総合計画の策定にあたり、より多くの町民の皆様からご意見をいただく「町民参加」の一環として開催するものです。

その第1回として釧路町女性連絡協議会の皆さんのから、ご意見をいただき策定に反映させるべく開催しました。

---

釧路町総合計画策定会議 事務局

---

## 女性サミットの開催について



☺ 釧路町では多くの女性が活躍しているので、女性の活発な意見を町民皆さんに伝えるため「女性サミット」を広く町民皆さんの前で開催してほしいので検討していただきたいです（町長）

☺ 町長からの提案として受け止めたので、今後開催の可否について検討していきたいと考えます（女性連）

## 買い物難民について

### 【遠矢地区】

買い物や病院の部分で大変に不便です。そのため、遠矢地区の高齢者は、この地域に「住み続けたい」と思っていないと感じます。

### 【別保地区（栄町）】

別保は高齢者の割合が高い地区です。地域の商店が閉店しましたが、現在、4社が移動販売に来ています。

近所のコンビニエンスストアでも、別保地区の住民限定ですが、お願いしたところ宅配も始めてくれました。買い物の足のことを考えると、高齢者にとっては宅配や移動販売という形が良い面もあると思います。

移動販売については、路上販売の関係もあって、自治会長の名前で許可をとり、地域全体で買い物できる体制を守ることができたと思っています。

生鮮食品も保健所の許可をとっているので販売しています。

地域でも、できることをまずやってみることが大切だと思っています。

### 【昆布森地区（仙鳳趾）】

昆布森地区では生協の共同購入と移動販売が週2回来ています。

次回に来たときのために注文も受けることができますが、やはり品数の面などで市内まで出なければ足りない部分の方が多いと感じています。しかし、私たちもできることからやっています。

別保地区や昆布森地区の取組みは素晴らしいと感じました。特に遠矢地区のように既存店がある地区と違い、別保地区の場合はモデル地区のように感じました。町が特定の業者をお願いするという事は難しい部分もありますので、こういう取組みを奨励していきたいと思っています。（町長）



## 健康・育児相談について



私の母は80歳で、保健師さんの訪問を楽しみにしています。

普段あまり友達がなくて孤独なところもあるので、他人と関わるという部分で、保健師さんがもっと頻繁に来てくれるといいと思います。そういった部分は、サービスとしてできるのではないかと思います。

若いお母さんに対しても、保健師さんは重要な位置を占めていると思います。

保健師の用務の中で、育児相談のウエイトが高くなってきていると聞いています。

保健師活動は重要であるというご指摘ですが、育児に対するニーズが増えてきている中、これまで社会や家族がカバーしていた部分が、行政に向いてきている傾向にあると思います。これからは、「地域」で育児をカバーしていく体制が必要になってきているのではないかと思います。(町長)

## 世代間交流について

☺高齢者の「いきいきサロン」は各地域いろいろやっていますが、子どもとの交流までは行っていないような気がします。

☺雁来地区では、「元気の会」というところが活発に活動をしており、年に1回、お年寄りと子どもとの交流会をおこなっています。

お年寄りから、おはじき、缶蹴りなどの昔の遊びを教えてもらって子ども達からは大変好評です。



私は、第一線を離れた方のエネルギーを違うところで発散できる体制も必要なのではないかと考えています。

現在、学校開放事業を富原でやっていますが、地域の方が、独楽をつくったり将棋をしたりということ、子どもたちに教え、一緒になってやっていくということを行いました。地域の高齢者だけでなく、現役の大学生が勉強を見てくれています。

このような地域全体で子どもを育て、見守っていくということを広げていきたいと考えています。例えば、「月に1回であればこんなことをお手伝いできます」というように登録していただいて、必要な場面でお手伝いしていただくような登録制度を考えています

女性に限らず、男性にも、お知恵や力をお借りしたいと思います。

皆さんも含め、地域ではいろいろな特技やお力を持っている方がたくさんいらっしゃると思いますので、多くの皆さんのご協力をいただければいいと思います。世代と世代をつなぐ、双方がエネルギーを与えて、エネルギーをもらうような活動を、地区の会館のような身近な施設を利用して行うことができればいいと思います。(町長)

## 釧路町の経済効果について



☺ 釧路町の経済効果について、もっとみんなで考えていく必要があるのではないかと思います。みんなで話さないと、いいものはでてこないと思います。

例えば、昆布森では昆布や海産物の良い生産を行っており、別保公園では、販売できる場所があるので、みんなで連携し一緒に経済効果が出せるようないい場所にもっとなれば良いと思います。みんなの意見で釧

路町を見直すことができれば良いと思っています。釧路町産のものに付加価値をつけて販売できることが望ましいと思います。

☺ 先日、昆布森漁協の女性部による別保小学生への料理教室について新聞で報道されていました。地場産のものを使った料理教室によって、子どもにも地元のものを知ってもらう機会になったと思います。

☺ 女性連でも地場産を使った料理教室を開催したことがあります。地場産のものを広める取組みが、町民に知ってもらえていないのではないかと感じています。漁協や地域ではいろいろな研究をしており、商品化についての提案があると思います。例えば「昆布醤油」はいろいろな町で売り出しているが、釧路町産という部分をもっと宣伝できればと思います。

☺ すりむ昆布については、漁協女性部部長が袋詰めを一手に行っており、部長が自分の時間を潰して作っています。すりむ昆布の製作の委託や請負できるような体制ができるかと思っています。すりむ昆布は、注文が増えてきて袋詰めが間に合わなくなっています。真空パックと包装できるような機械があれば良いと思っています。



昆布森の方から2日前に、「ホッキの飯寿司をつくってみたので評価してほしい」というお話をいただきました。昆布森ではホッキがとれますが、飯寿司をつくるためには野菜を入れる必要があります。その野菜は、同じ釧路町の農家から提供してもらい実験的に作ってみたそうです。飯寿司でホッキは硬いと思っていましたが、大変柔らかく野菜も美味しいものでした。私は、このような山と海のコラボレーションがもっと進んでいくことが必要であると思っています。

別保では、地域で餅つき大会を毎年しています。先日、その餅つき大会で、すりむ昆布を入れた餅をつくられており大変美味しかったです。昆布が入っていることで、よもぎ餅と違って色もきれいなものでした。すりむ昆布は、名刺サイズのを来客があったときに渡しています。地域のものを広めていくためには、根気強く、そして継続していくことが大切だと考えています。(町長)

## 釧路町議会の取組みについて



先日、議会を傍聴させてもらったのですが、議員さんはいろいろなところに視察に行っているそうです。

議会の中で、住民主体のまちづくりが活発なまちがあり、そういった町を参考にすべきと発言されていました。

しかし、町民にはそのような先進的な町の取組みを知らされていません。

議員さんが視察に行つて、住民主体の素晴ら

しい取組みがあるのであれば、議員さんが地域に出向いて地域の集まりで報告してもらうことはできないのでしょうか。

議会だよりで書くだけでなく、問題を地域で投げかけていくことで、地域の人も、それを聞いて取組むことで、できることもあるのではないかと思います。

また、余談ですが、傍聴していて感じたのが、町長が答弁しているのに議員さんが他の議員さんの席に立って歩いて話しをするのは品位が無いと感じました。

そのような態度であれば、傍聴したくなくなってしまいます。

いずれにしても、視察に行つて先進地の良いことは、地域に持ち帰ることで何かのきっかけになるのではないかと思います。

このような会合に議員さんをお呼びして、お話を聞くことも可能ではないかと思います。議員さんからのお話を聞くということは、女性連の存在意義にもなるのではないかと思います。(町長)

## 町民インタビュー むすび

### 【女性連 会長】

今日は、みなさんと町長の意見が聞けて良かったです。

今後の活動に活かしていきたいと感じました。



皆様のご意見は新しい総合計画に反映させていきたいと思ひます。元気なアイデアを女性の皆さんからどんどん出してほしいと思ひます。こういったお話を、多くの町民の前でお話ししていただけないかと思ひます。ぜひ、「女性サミット」を開いていただひて、町政や地域づくりへのご提言をいただきたいと思ひます。(町長)